



みどり野

潟上市立出戸小学校
校報 No.9
令和6年10月11日

校訓 「 太陽のように明るく 松のようにたくましく 海のように心豊かに 」
教育目標 「 進んで学び たくましく 心豊かな子どもの育成 」
目指す子どもの姿 進んで学ぶ子ども たくましい子ども 心豊かな子ども

体験活動から学んだ前期 終了！！

あっという間に10月。折り返し地点の前期が終了いたしました。とても充実していました。特に、子どもたちは、机の上だけでの学びではなく、体験的な学習を通して、様々なことに気付き、学びを深めていきました。体験、そのものが、子どもたちの心を豊かにしたり、課題を追究する力を高めたりする上で、とても重要であると強く感じた前期でした。

他学年と交流し合う「メイト活動」。「○○ちゃん～」「○○おねえさん～」と互いに名前呼び合う姿や上の学年が下の学年の目線に合わせ、話している姿など相手を気遣いながら関わる姿が見られ微笑ましく思いました。高学年では、追分小学校や東成瀬小学校の友達と、1年生は、出戸こども園の園児と交流しました。メイト学習の経験を生かしながら、積極的に友達の名前を呼んで声を掛けていました。体験で得た気付きを次の体験に生かす姿を見ることができました。

「アゲハの幼虫は、何を食べるのかな。」「ぼくがよく行くスーパーマーケットはどんな秘密があるのかな。」「ふるさとの偉人、石川理紀之助は、なぜ、農業の父と呼ばれたのかな。」等、ふるさとを教材とし、常に「問い」を発する姿が見られました。このような子どもたちの姿を見て、改めてふるさと「出戸」のすばらしさを感じました。

こども園の友達と1年生とでミニミニ運動会

1年生の学級活動の時間に、出戸こども園の年長さんを招いて、ミニミニ運動会を行いました。こども園の子どもたちとの交流は、「心豊かな子ども」を育成する上で、意義のある活動です。こども園の子どもと1年生が、共に楽しみながら活動する姿が見られました。

感心した姿は、チームの勝利のために1年生が中心になり、玉入れの作戦を話し合っていたことです。

1年生「遠くに投げちゃだめだよ。」「高く投げた方がいいよ。」

年長さん「どうやって高く投げたらいいの。」「ジャンプするしかないな。」

この作戦が功を奏したのか・・・勝利につながったようでした。

1年生がちょっとだけ、お兄さんお姉さんになり、温かく見守っていたのが印象的でした。



前期のふり返りと
後期にがんばりたいこと
5年2組 ○○ ○○

私が前期にがんばったことは二つあります。一つ目は委員会活動です。5年生になり、今年から委員会活動が始まりました。初めは、すごくきんちょうして、本当にできるのか心配でしたが、6年生が優しく教えてくれて、今は委員会活動がすごく楽しい時間になりました。二つ目は勉強です。特に社会が苦手なので、テスト勉強をよくするようにしています。特に大事だと思ったことは、「話をよく聞くこと」と「ノートにメモをして、分かりやすくすること」です。これからも、これを続けていこうと思います。

後期にがんばりたいことは三つあります。一つ目はクラブ活動です。私は、今年から始まった音楽クラブに入りました。どんな音楽を演奏するのか、何の楽器を演奏しようか、きんちょうするよりワクワクしていました。学習発表会で発表するので、がんばって練習しようと思います。

二つ目は、テストです。12月に秋田県の学力テストがあります。昨年は国語の文章の読み取り問題に課題がありました。だから、家庭学習ノートで練習すればいいと思いました。

三つ目は、低学年をサポートすることです。来年は、6年生になって最高学年になるので、メイト活動などの司会になることもあるかもしれません。だから、低学年のサポートをしたり、6年生がいそがしいときは手伝ったりしたいと思います。後期は、この目標を達成できるようにがんばります。

前期の学校生活をふりかえって
3年1組 ○○ ○○

わたしが前期でがんばったことは、二つあります。

一つはマラソン記ろく会です。いっしょけんめい走って、まわりの人においこされないようにすることをがんばりました。けっかは1位はとれなかったけれど、5位になることができました。練習でも、自己ベストをめざして全力でがんばったおかげで、5位をとれたのだと思います。

もう一つ、がんばったことがあります。それは虫を育てることです。「チョウのかんさい」の学習で、アゲハちょうのよう虫を飼いました。にんじんの葉を学校に持ってきて、よう虫にあげたらどんどん食べてくれました。うれしくてそれから毎日のように、お母さんにきょう力してもらってえさをじゅんびしました。さなぎになったときには「やっー！」と思いました。さなぎになったから3日ほどたつと、成虫になりました、「よかった、安心だ。」という気持ちになりました。育てはじめたときは、成虫にならないうちに死んでしまうのではないかと心配しました。でも、成虫になって自然に帰っていくことができよかったです。さいごは3年生のみんなと、アゲハちょうを自然に帰しました。そのとき、「自分も生き物を育てられるようになったんだな。自分も成長したな。」と思いました。

前期のけいけんを大切にして、後期も運動をがんばって、そして生き物を大切にしていきたいです。



潟上市文化祭 ～代表の児童の作品が展示されます。～

潟上市の文化の交流となる、市民の皆さんの発表やミュージカル、作品展示などの催しが、「かたりあん」「天王館」で開かれます。出戸小からも、次の児童の作品が出品されますので、ご都合がございましたらどうぞ会場においでください。

- 展示場所：市民センター「天王館」
- 展示期間：10月26日（土）～27日（日）
- 出品児童

- ・1年：○○ ○○ ○○ ○○○
- ・2年：○○ ○ ○○ ○
- ・3年：○○ ○○ ○○ ○○
- ・4年：○○○ ○ ○○ ○○○
- ・5年：○○ ○○ ○○ ○○○ ○○○ ○○ ○○ ○○○○
- ○ ○○ ○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
- ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○
- ・6年：○○ ○○○ ○○○ ○○○